本年度は、以下のとおり実施した。

６月　ＷＥＢ公務研究セミナー

９～12月　公務研究セミナー（全国主要８都市で対面開催）

12月　公務研究セミナーin霞が関（霞が関周辺の本府省で対面・オンライン開催）

１月　申込直前ＷＥＢ公務研究セミナー

国家公務員ＯＰＥＮゼミ（職場訪問）

国家公務員ＯＰＥＮゼミは、国家公務員が実際に勤務する職場や現場等を開放して、実際の仕事の見学・体験や職員との座談会等により、仕事の魅力をリアルに体感してもらい、国家公務員の業務に興味や関心を持ってもらうことを主な目的とするものである。

本年度は、中央省庁及び地方機関において、以下のとおり実施した。

７月　〔理系学生限定〕１Day職場訪問・仕事体験～（対面・オンライン開催）

８月　〔文系・理系学生対象〕１Day職場訪問・仕事体験～（対面・オンライン開催）

２月　霞が関ＯＰＥＮゼミ（霞が関周辺の本府省で対面・オンライン開催）

ＷＥＢ国家公務員テーマ別クロストーク

ＷＥＢ国家公務員テーマ別クロストークは、国家公務員志望者等が関心を持つと考えられるテーマを毎回設定し、各府省の若手・中堅職員を交えた対談形式により、様々な角度から国家公務員の仕事の魅力を伝えることを主な目的として、令和３年度から実施している。

本年度は、８月から２月にかけて計11回、学生等が視聴しやすい夕方から夜の時間帯にライブ配信を行い、うち４回は各府省職員に加えて民間企業からの参加者も交えて実施することにより、公務と民間で悩んでいる潜在的な公務志望者層にも視聴してもらえる内容で実施した。

公共政策大学院及び法科大学院の学生を対象とした人材確保のための活動

１　インターンシップ

公共政策大学院及び法科大学院の学生に政策決定等の行政実務に係る就業体験の機会を付与することを通じて、大学院教育に協力するとともに、行政に対する理解を深めてもらうことを目的として実施している。本年度は、７月から９月までに公共政策大学院６校38人が10府省で、法科大学院９校14人が３府省で、２週間を基本に実習を実施した。

２　就職指導担当教員との意見交換会

公共政策大学院・法科大学院それぞれの就職指導担当教員と公務における人材確保等について意見交換を実施した。

（参考：総合職試験（事務系区分）における公共政策大学院・法科大学院出身者数）

		申込者数		合格者数		採用者数	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
総合職試験（事務系区分）の合計	令和６年度	14,996	(100.0%)	1,268	(100.0%)	422	(100.0%)
	令和７年度	15,255	(100.0%)	1,263	(100.0%)	443	(100.0%)
公共政策大学院	令和６年度	69	(0.5%)	40	(3.2%)	31	(7.3%)
	令和７年度	44	(0.3%)	33	(2.6%)	23	(5.2%)
法科大学院	令和６年度	121	(0.8%)	43	(3.4%)	7	(1.7%)
	令和７年度	76	(0.5%)	29	(2.3%)	8	(1.8%)

㈱１　「事務系区分」とは、行政、法務、政治・国際・人文、法律、経済及び教養区分をいう。

２　公共政策大学院には、専門職大学院以外の公共政策系大学院を含む。

３　令和６年度の採用者数は、令和７年度における採用者（過年度合格者を含む。）の数である。（特別職含む。）

４　令和７年度の採用者数は、令和８年３月31日現在で令和８年度における採用が内定している者（過年度合格者を含む。）の数である。（特別職含む。）

５　公共政策大学院・法科大学院出身者には、在学者を含む。ただし、総合職試験（院卒者試験）は修了者及び修了見込み者に限る。

ホームページ、メールマガジン、各種ＳＮＳの活用

多様で有為な人材を確保するためには、より多くの学生等に国家公務員に関心を持ってもらい、国家公務員採用試験を受験してもらうことが必要であることから、学生等が手軽に情報を入手できるよう、次のような媒体を活用し、国家公務員採用試験情報、試験合格から採用までの手続、説明会・セミナーなどに関する情報を発信している。

◎　ホームページ「国家公務員試験採用情報ＮＡＶＩ」

学生等が国家公務員採用試験や採用試験合格後の採用手続、説明会、セミナーに関する情報などを入手しやすいよう、これらの情報を集約したＷＥＢページ「国家公務員試験採用情報ＮＡＶＩ」を人事院ホームページ上で展開している。

◎　メールマガジン「国家公務員試験採用情報ＮＥＷＳ」

ＷＥＢ上で配信登録をした学生等に対し、採用試験日程、説明会・セミナー等の情報などを週１回程度配信している。

◎　Instagram・Threads「国家公務員試験採用情報Instagram」

学生等に対し、各府省に勤務する国家公務員からのメッセージ、国家公務員の採用に関する情報などを随時発信している。

◎　Ｘ（旧Twitter)「国家公務員試験採用情報Ｘ」

学生等に対し、国家公務員採用試験日程、説明会・セミナー等に関する情報のほか、上記のInstagramにおいて発信した内容の紹介などを随時発信している。

◎　YouTube「国家公務員試験採用情報チャンネル」

学生等に対し、国家公務員の採用に関する情報や各府省職員が出演する国家公務員の魅力や実態に関する動画などを随時発信している。

◎　note「国家公務員公式note」

令和７年７月に、国家公務員ブランディング府省横断チーム（34府省等約130人）が立ち上がったことを契機に、チームでの活動を始め、広く国家公務員の魅力を発信している。

第２節　採用試験

１　2025年度における採用試験の実施

⑴　採用試験の種類

人事院が試験機関として自ら実施した2025年度の採用試験は、28種類30回である。このほか、人事院の指定に基づき、外務省が試験機関として実施した外務省専門職員採用試験がある（表１―２）。

28種類の内訳は、①政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員を採用する総合職試験（院卒者試験及び大卒程度試験の２種類）、②政策の実行やフォローアップなどに関する事務をその職務とする係員を採用する一般職試験（大卒程度試験、高卒者試験及び社会人試験（係員級）の３種類）、③特定の行政分野に係る専門的な知識を必要とする事務をその職務とする係員を採用する専門職試験（国税専門官採用試験、労働基準監督官採用試験等の16種類）、④民間企業における実務の経験その他これに類する経験を有する者を係長以上の官職へ採用する経験者採用試験（係長級（事務）等の７種類）である。

⑵　採用試験の周知

人事院が試験機関として実施する2025年度の採用試験全体の施行計画については、令和６年12月25日に官報公告を行った後、各採用試験の詳細について、受験申込みの受付期間を考慮し、28種類30回の採用試験を６回に分けて官報により告知した。また、人事院のホームページなどで採用試験について情報提供を行うとともに、ポスター、採用試験の概要等の募集資料の掲示・配布を全国の大学、高等学校等に依頼し、積極的な採用試験の周知を図った。